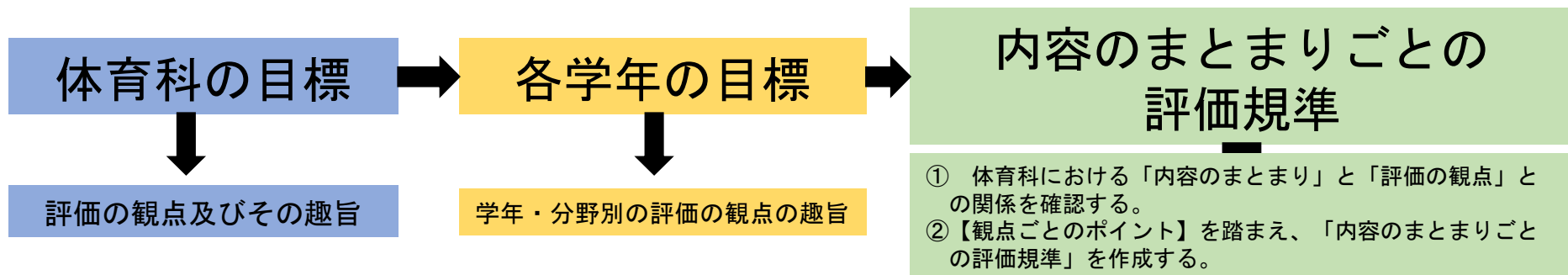
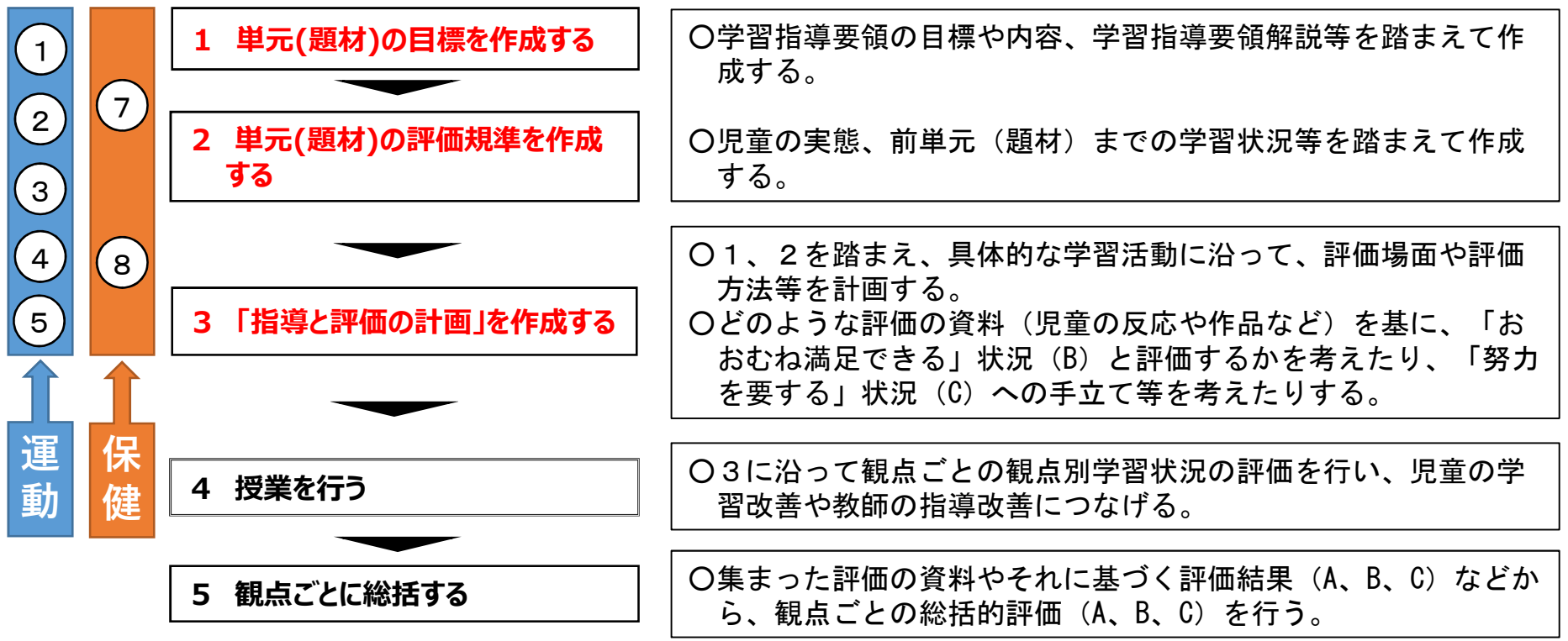


小学校 体育科における指導と評価のための具体的な手順



評価の進め方



小学校 体育科における指導と評価のための具体的な手順

1

単元の目標を作成する(運動領域)

【単元の目標を作成する手順】

- ①学習指導要領を参考に、設定することができる。
- ②各領域において育成を目指す資質・能力があるため、学習指導要領の趣旨等に基づく指導上の目標ととらえることができる。
- ③単元目標の語尾は、「～**することができるようにする**」と表記する。

例：単元名「器械・器具を使つての運動遊び」（マットを使った運動遊び）

- (1) マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向に転がったり、手で支えての体の保持や回転をしたりして、遊ぶことができるようにする。
(知識及び技能)
- (2) マットを使った簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) マットを使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気をつけたりすることができるようにする。
(学びに向かう力、人間性等)

※ゴシック体は、本文からの引用部分を表す

小学校 体育科における指導と評価のための具体的な手順

2

単元の評価規準に盛り込むべき事項を整理する(運動領域)

【単元の評価規準を作成する手順】

- ①単元の評価規準に盛り込むべき事項は、**児童の実態を考慮**しつつ、本文をもとに作成することができる。
- ②評価規準の語尾は、「～できる」(技能)、「～している」(知識、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の「健康・安全」)、「～しようとしている」(主体的に学習に取り組む態度の「健康・安全」以外)と表記する。
- ③「知識・技能」については、**知識の評価規準と技能の評価規準に分けて設定**する。
- ④「思考・判断・表現」については、「**思考・判断**」の評価規準と「**表現**」の評価規準に分けて設定する。
- ⑤「主体的に学習に取り組む態度」については、**愛好的態度、公正・協力、責任・参画、共生、健康・安全の各項目に分けて設定**する。

例：内容のまとめり 第1学年及び第2学年 B 器械・器具を使つての運動遊び

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
マットを使った運動遊びの行い方について知っているとともに、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転の動きを身に付けている。	器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。	器械・器具を使つての運動遊びの楽しさに触れることができるよう、運動遊びに進んで取り組もうとしていたり、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしようとしていたり、場や器械・器具の安全に気を付けている。
<ul style="list-style-type: none"> ・マットを使った運動遊びの行い方を知っている。 ・マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がったり、手や背中で支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりするなどして遊ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マットを使った簡単な遊び方を選んでる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マットを使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動しようとしている。 ・場の安全に気を付けている。

小学校 体育科における指導と評価のための具体的な手順

3

指導計画を立案する(運動領域)

【単元の指導計画を作成する手順】

- ①児童の実態を踏まえ、単元目標の達成に向けた指導計画を作成する。
- ②指導する**内容の順序**や指導にかけることができる**時間**等を考慮し、**無理のない計画に留意**する。

例：単元名「器械・器具を使っでの運動遊び」（マットを使った運動遊び）

時間	1	2	3	4	5	6
0 ↓ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・感覚づくりの運動遊び紹介 ・学習カードの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・前転がり ・後ろ転がり ・だるま転がり ・丸太転がり <p>転がり方を組み合わせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腕支持での川跳び ・腕支持での平均台跳び <p>川跳びからの腕立て横跳び越し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さかさまになる動き <p>さかさまからのブリッジ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでマットランド ・作ったランドをグループ間で紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループが作ったランドを楽しむ。 ・もっと楽しいランドになるよう工夫する。

小学校 体育科における指導と評価のための具体的な手順

4

単元の評価規準を作成する(運動領域)

【単元の評価規準を作成する手順】

- ①内容のまとめりごとの評価規準と指導計画における児童の活動を考慮し、児童の学びの姿として**より具体化した評価規準**を作成する。
- ②各観点とも複数個に細分した評価規準を想定するが、**順序性を示すものではないことに留意**する。

例：単元名「器械・器具を使っての運動遊び」（マットを使った運動遊び）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①マットを使った運動遊びの行い方について言ったり、実際に動いてみたりしている。</p> <p>②マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がって遊ぶことができる。</p> <p>③手や背中で支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりして遊ぶことができる。</p>	<p>①坂道やジグザグなどの複数のコースでいろいろな方向に転がることのできるような場を選んでいる。</p> <p>②腕で支えながら移動したり、逆さまになったりする動きを選んでいる。</p> <p>③友達のよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えたり書き出したりしている。</p>	<p>①動物の真似をして腕で支えながら移動したり、転がったりするなどの運動遊びに進んで取り組もうとしている。</p> <p>②順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動遊びをしようとしている。</p> <p>③場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。</p> <p>④場の安全に気を付けている。</p>

小学校 体育科における指導と評価のための具体的な手順

5 指導と評価の計画を作成する(運動領域)

【単元の指導と評価の計画を作成する手順】

- ①単元計画のうち、**いつ、どの場面で、何をどのように見取るかの計画**を立てる。
- ②指導計画の下に評価の計画を重ね合わせ、指導と評価の計画を作成する。
- ③**1時間につき1～2程度の評価観点にする**など、評価をするに当たり無理のない計画を立てる。

例：単元名「器械・器具を使っての運動遊び」（マットを使った運動遊び）

時間	1	2	3	4	5	6	
0	オリエンテーション ・学習内容の確認 ・安全の約束の確認 ・場の準備や片付けの仕方の確認 感覚づくりの運動遊びの紹介	場の準備→準備運動（感覚づくりの運動遊び）				マットランドで楽しもう	
		ころころランド ・前転がり ・後ろ転がり ・だるま転がり ・丸太転がり	ぴよんぴよんランド ・腕支持での川跳び ・腕支持での平均台跳び	さかさまランド ・跳び箱を使って ・肋木を使って	グループでマットランドの場を作って楽しむ。 作ったランドをグループ同士で紹介し合っ て楽しむ。	他のグループが作ったランドで楽しむ。 もっと楽しいランドになるよう工夫する。 動きのバリエーションを楽しむ。	
		振り返り→遊びのバリエーションの紹介					
45		転がり方を組み合わせる。	腕立て横跳び越し	さかさまからのブリッジ			
		振り返り→整理運動→片付け					
知※		① 観察	② 観察	③ 観察		②または③ 観察	
思			③ 観察・カード		① 観察・カード	② 観察・カード	
態	④ 観察	③ 観察		① 観察	② 観察		

※ 知…「知識・技能」、思…「思考・判断・表現」、態…「主体的に学習に取り組む態度」

小学校 体育科における指導と評価のための具体的な手順

6

単元の目標、評価規準を作成する(保健領域)

例：単元名 体の発育・発達

内容のまとめり 第4学年(2) 体の発育・発達

1 単元の目標

- (1) 年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができるようにする。 【知識】
- (2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 体の発育・発達について、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ②思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることや初経、精通、変声、発毛が起こることなどについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ③体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。	①体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けている。 ②体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達させるための方法を考えているとともに、考えたことをワークシートなどにも書いたり、発表したりして友達に伝えている。	①体の発育・発達について、課題の解決に向けての話合いや発表などの学習や教科書や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。

小学校 体育科における指導と評価のための具体的な手順

7 指導と評価の計画を作成する(保健領域)

例：単元名 第4学年(2)体の発育・発達

3 指導と評価の計画(4時間)

【指導と評価の計画を作成する手順】

- ①*は、主に全員の学習状況を記録に残す。
- ②「主体的に学習に取り組む態度」については、単元全体で評価していくため破線で示している。
- ③「知識・技能」「思考・判断・表現」については、各授業後や単元終了後にワークシートやノートの記載等からも評価することで評価の信頼性を高めることができる。

	ねらい・学習活動	知	思	態	評価規準・評価方法
1	<p>【ねらい】</p> <p>○身長、体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「体の変化」からイメージすることを出し合い、体や心に変化があることに気付く。 2 教科書や資料から、4人の身長の伸びを比べ、気付いたことを発表する。 3 身長や体重などは年齢に伴って変化すること、体の変化には個人差があることを理解する。 4 身長の伸びについて考えている児童の事例を用い、学習したことを生かしてアドバイスをする。 	①			<p>【知識①】</p> <p>身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり、書いたりしている状況を【観察・ワークシート】で捉える。</p>
2	<p>【ねらい】</p> <p>○体の発育・発達について、思春期の体の変化から課題を見付けることができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「声当てクイズ」、「シルエットクイズ」に取り組み、変声や男女の体つきの変化に気付く。 2 グループで、体つきの変化について考え、ベン図(男・女・共通)を用いて分類しながら話し合う。 3 思春期には、体つきに変化が起こること、人によって違いがあるものの男女の体つきの特徴が現れることを理解する。 4 思春期の体つきの変化について考えている児童の事例を用い、学習したことを生かしてアドバイスをする。 		①		<p>【思考・判断・表現①】</p> <p>体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けている状況を【観察・ワークシート】で捉える。</p>
3	<p>【ねらい】</p> <p>○思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こることなどについて、理解できるようにするとともに、体をよりよく発育・発達させるための方法を考え、発表することができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教師の話から、思春期には初経、精通など体の変化が起こることを知る。 2 初経、精通、変声、発毛について、教科書や資料を基に調べ、気付いたことを発表する。 3 思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こること、異性への関心も芽生えること、これらは、個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解する。 4 思春期の体の変化について心配している児童の事例を用い、学習したことを生かしてアドバイスをする。 	②	②	*	<p>【知識②】</p> <p>思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることや初経、精通、変声、発毛が起こることなどについて、理解したことを言ったり、書いたりしている状況を【観察・ワークシート】で捉える。</p> <p>【思考・判断・表現②】</p> <p>体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達させるための方法を考えているとともに、考えたことをワークシートなどに書いたり、発表したりに友達に伝えている状況を【観察・ワークシート】で捉える。</p>
4	<p>【ねらい】</p> <p>○学習に進んで取り組むとともに、体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることを理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体をよりよく成長させるために必要だと思うことを出し合う。 2 出た意見をYチャートで3つ(運動、食事、休養・睡眠)に分類する。 3 どのような生活をすれば、体をよりよく発育・発達できるかをグループで話し合う。 4 体の発育・発達により運動、多くの種類の食品をとることができるようなバランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることを理解する。 5 これまでの自分の生活を振り返り、自分の目標を決める。 	③	*	①	<p>【知識③】</p> <p>体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている状況を【観察・ワークシート】で捉える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や教科書や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている状況を【観察】で捉える。</p>